

CASE 011

共用部はもちろん、室内一新で 新たな層にアプローチ

交通：小田急小田原線相模大野駅 徒歩7分
構造等：鉄筋コンクリート造 3階建
建築時期：1989年8月
面積：約24㎡・43㎡・44㎡（各2戸）、約35㎡・36㎡（各1戸）
用途：賃貸マンション

現状の課題

管理前の課題
駅徒歩7分であるにも関わらず、賃料が下落傾向に。共用部に課題があり、2室の空室が埋まらない。

対策と結果

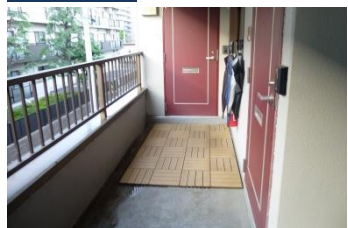
対策：
・共用部の整備
自転車置場、共用廊下、
集合ポストの設置
・室内の原状回復工事

結果：
募集開始から3ヶ月で満室
となった。

共用部

雑然とした共用部は使いやすく、美しく
降雨時に水がたまる共用廊下も改善

Before



▲雨が降ると水がたまる廊下。
スノコを敷いて対応



▲区切りの線がなく、雑然と止め
られた自転車

After



▲廊下の勾配を調整。防水シート
を張って水がたまらないように



▲サイクルラックを設置。床面の塗
装も行い整然とした駐輪場に



▲駐車場の床面を塗装。ラインも新
たに引き直した

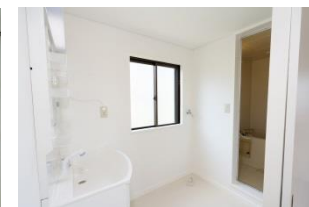
室内

白を基調にリフォームを実施
清潔感のある室内に

Before



After



▲白を基調にした室内は、清潔感があふれ、サッシの黒
が空間を引き締め、都会的な印象を与えている